

秋葉だより



開く つなげる ともに
令和8年6月22日

ワールドカップで思うこと

校長 近藤 伸

梅雨の時期に入り、雨の日や湿度の高い日が多くなっていますが、サッカーのワールドカップでは日本代表チームが強豪オランダチームと引き分けに持ち込み、続くチェニジア戦では4-0と見事な勝利を収めました。ぜひ、スウェーデン戦でも日本代表チームの健闘を祈りたいと思います。さて、サッカーのワールドカップで私が思い出す一つの出来事があります。それは2002年の日韓共同開催で行われたワールドカップのことです。この時は日本と韓国を会場に熱戦が繰り広げられ、日本代表チームは決勝トーナメントまで進むこともできた歴史的な大会にもなりました。ちょうど、私はその当時、6年生の担任をしていたのですが、クラスの子どもの一人が韓国につながる子どもでした。私は子どもたちは日本、韓国どちらを応援するのだろうと見守っていました。すると子どもたちは日本も韓国も両方の国のチームを声に出して応援する様子が自然と見られたのです。韓国語でテーハミング(大韓民国頑張って!)という言葉とその子どもから教えてもらい、クラスみんなでテレビの生中継を見ながら韓国の代表チームも日本代表チームと同じように応援したことを覚えています。さらにその子どもはその時の体験を作文にまとめ、「子ども国際平和スピーチコンテスト」の学校代表として見事選ばれ、区の大会で堂々とスピーチをしたのです。よくスポーツに国境はないと言いますが、子どもたちもこの応援を通して多くのことを学んだのではないかと思います。現代は多様性の時代と言われます。幼児から高齢者まで、男性も女性も、障がいがあってもなくても、国籍が異なっている、また考え方が異なっている、…様々な違いがあるかもしれませんが、互いをまずは受け入れ、ともにこの地球で生きていく仲間として生活することができたら素晴らしい未来が待っているのではと思っています。

6月12日(金)には秋葉小・秋葉中の「学校運営協議会」が行われ、委員の皆様へ今年度の中期学校経営方針並びに学校予算に説明させていただき、承認をいただきました。その席上、委員の方々からは「低学年の子どもたちを中心によく挨拶をしている。」「地域の防災訓練にも参加できる体制ができるとよい。」「避難訓練を見学させていただければ有難い。」「登下校の見守り、学援隊の進め方で地域で協議できる場があれば有難い。」「幼保小の交流を推進していくのはよい。」「学校運営協議会でも児童生徒の意見を取り入れるとよい。」「…などのご意見をいただきました。今後の学校運営に生かしてまいります。ありがとうございました。